

ハローワーク山口の雇用情勢 (令和4年11月分：4年12月発行)



主要指標

有効求人倍率	有効求人数	有効求職者数
1.81 倍 前月比 0.08P 上昇	4,638 人 前月比 2.9% 増加	2,569 人 前月比 1.6% 減少

新規求人倍率	新規求人数	新規求職者数
3.07 倍 前月比 0.5P 上昇	1,611 人 前月比 6.3% 増加	524 人 前月比 11.0% 減少

正社員有効求人倍率	山口市の有効求人倍率
1.26 倍 前月比 0.04P 上昇	1.97 倍 前月比 0.05P 上昇



令和5年3月新規高等学校卒業者の就職内定状況(令和4年10月末現在)

求人数	求人倍率	就職内定率	県内就職比率【参考値】
694 人 対前年 7.6% 減少	3.61 倍 対前年 0.15P 上昇	82.8% 対前年 6.3P 上昇	93.7% 対前年 0.3P 上昇

※「県内就職比率【参考値】」とは、就職内定者に対する県内就職内定者の比率である。

今回の公表は、令和5年3月末現在（令和5年4月公表予定）となります。

各機関による県内経済の判断

◎雇用情勢（令和4年12月27日：山口労働局）

県内の雇用情勢は、持ち直しが進む中、求人が求職を上回って推移している。
ただし、新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響に留意する必要がある。
(3か月連続で判断維持)

◎山口県金融経済情勢（令和4年12月14日：日本銀行下関支店）

県内景気は、持ち直している。

◎山口県内の経済情勢（令和4年11月1日：財務省中国財務局山口財務事務所）

県内経済は、持ち直している。

◎用語の解説

○新規求人数

期間中に新たに受け付けた求人数（採用予定人員）をいう。

○月間有効求人数

前月から繰り越された有効求人数（前月末日現在において、求人票の有効期限が翌月以降にまたがっている未充足の求人数をいう。）と当月の「新規求人数」の合計数をいう。

○新規求職申込件数

期間中に新たに受け付けた求職申し込みの件数をいう。

○月間有効求職者数

前月から繰り越された有効求職者数（前月末日現在において、求職票の有効期限が翌月以降にまたがっている就職未内定者の求職者数をいう。）と当月の「新規求職申込件数」の合計数をいう。

○求人倍率

求職者に対する求人数の割合を言い、「新規求人数」を「新規求職者申込件数」で除して得た「新規求人倍率」と、「月間有効求人数」を「月間有効求職者数」で除して得た「有効求人倍率」の2種類がある。

○正社員

パートタイムを除く常用のうち、勤め先で正社員、正職員などと呼称される正規労働者を言う。

○山口市の有効求人倍率【試算値】

就業地が山口市内の月間有効求人数を山口市内の月間有効求職者で除して得た求人倍率をいう。

【参考】県内ハローワークの有効求人倍率（倍）（注）山口県の数値は季節調整値である。

	令和4年7月	令和4年8月	令和4年9月	令和4年10月	令和4年11月
山口	1.43	1.52	1.77	1.73	1.81
下関	1.55	1.55	1.58	1.63	1.75
宇部	1.55	1.58	1.60	1.66	1.76
防府	1.35	1.41	1.38	1.38	1.45
萩	1.54	1.56	1.63	1.62	1.73
徳山	1.41	1.42	1.42	1.45	1.56
下松	1.71	1.78	1.78	1.80	1.84
岩国	1.44	1.42	1.47	1.47	1.56
柳井	1.54	1.52	1.60	1.42	1.47
山口県	1.53	1.56	1.63	1.58	1.60

